



旧黒澤家住宅の概要

今から約三百年前に現在の秋田市中通三丁目に建てられた上級武家住宅です。当時の中通地区は三ノ廓(さんのくるわ)と呼ばれ、上級、一部中級の武家住宅を配置し、久保田城の正面の守りとされてきました。江戸時代において、藩士の住宅は藩の所有物で、藩士の身分、石高に応じてあてがわれていました。そのため藩の都合や藩士の身分の変化により居住者の変更が行なわれました。旧黒澤家住宅も芳賀家、赤田家、吉成家、平井家、黒澤家の順に変わっています。黒澤家は文政十二年(一八二九)から居住した、石高五百石、山奉行、寺社奉行の要職を務めた上級武士です。

Built by the Kurosawa family about three hundred years ago, this house is a fine example of the typical samurai residence of the time. There is no other building that represents the architecture of the Edo Period as perfectly. This house is registered as an Important Cultural Asset.



一つ森公園の友誼亭

観覧・利用の案内

- 観覧時間／午前9時30分から午後4時30分まで
- 観覧料／一般……………100円(団体80円)
*団体は20人以上から。受付にお申し出ください。
- 休館日／年末年始
(12月29日から翌年の1月3日まで)。
- 禁止事項／施設内での火気、飲食は厳禁です。その他管理人の指示に従ってください。

●所在地／秋田市栢山字石塚谷地297番地99
(一つ森公園地内)
電話(018)831-0285

案内図



旧黒澤家住宅



国指定重要文化財

